

団体名：池多朝どり特産市

代表者：栗山美智子

所在地：富山市北押川

〔ポイント〕

地元で収穫した新鮮・安全・安心な農産物を提供するため、平成 9 年 6 月「池多朝どり特産市」を開設。減農薬・有機肥料栽培の野菜や漬物等の農産加工品の販売。

また、食材の効能を活かした郷土食を薬膳的観点から見直し、現代風にアレンジした「ふるさと薬膳」として取りまとめた。次の世代へ残していこうと伝承活動を行う。

【活動の内容】

1. 「池多朝どり特産市」は、ふれあい交流の場として多くの都市住民が訪れている自然活用村「古洞の森」の駐車場で 5 ～ 12 月までの毎日曜日に営業。（7 ～ 8 月は水曜日も営業）
2. 「夏の野菜祭り」「りんご・さつまいも祭り」「ふれあい感謝祭」や会員の畑の見学会、収穫体験など、イベントを積極的に開催し、消費者との交流に取り組んでいる。
3. 特産加工品の開発に取り組み、金時豆おこわ、芋まんじゅう、なんば味噌、かき餅、りんごジャムを商品化。また、加工場を整備し、菓子、惣菜、仕出し等の営業許可を取得し、併せて直売所も県の事業を導入して整備。
4. 池多小学校との交流に取り組み、祖父母が育てた旬の野菜で作った「おすわい」、「のっぺい汁」、「里芋おはぎ」、「白和え」などの郷土食を学校給食に供給。
5. 市中心商店街と連携し、他の 2 組織と共同出店の「中教院とれたて市」、市内の 3 町内会で開催する「出張朝市」、市街地空き店舗で「街なかサロン樹の子」を出店。

【活動の成果】

1. 30 ～ 70 代の会員が、郷土食の掘り起こしと伝承、安全で安心の出来る農産物の生産と直売を通じて、幅広い年齢層を越えた活動を行うことが出来た。
2. 約 160 品目にも及ぶ多種多様な農産物の生産と品目の拡大、芋まんじゅう、金時豆おこわ等の加工品も豊富になり、朝市を開設した平成 9 年度に 317 万円であった販売額が年々伸び平成 17 年度には 1,296 万円となった。
3. 芋まんじゅうは三世代交流スポーツ大会や歩こう会（春・夏）などの池多地区の行事には欠くことのできない特産おやつになっている。
4. この地産地消の取り組みによって、市内の直売組織や農村女性グループ活動の先導的役割を果たすと共に園芸生産の振興が図られ、地域農業の活性化に寄与した。